

守ろう 救急医療

適正受診

#7119

救急クイズにチャレンジ

1 東広島市消防局管内の**救急出動件数**は年々増加している？ 減少している？

①増加している ②減少している

ヒント 3ページ

2 東広島市休日診療所を受診する人のうち、半数以上が15歳未満。

- OかXか -

ヒント 3ページ

3 身近で頼りになる□□□□□**医**を持つことで病気に早く気付ける場合がある。

□に入る平仮名五文字は？



ヒント 4ページ

4 救急相談センターは**#7119**。
小児救急電話相談は**#□000**。

□に入る数字は？

ヒント 5ページ

5 急な病気やけがの緊急度を判定してくれる**アプリ**がある。

- OかXか -

ヒント 5ページ

クイズの答えは5ページ➡

救急医療を守るために できること

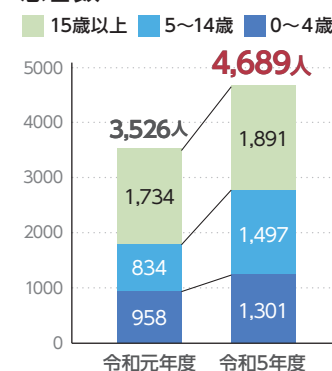
安心・安全な暮らしを支えてくれている救急医療。しかし、近年の医師不足に加え、「便利だから」という理由での受診や軽症者による利用が全国的に増加し、救急医療機関への負担が大きくなっています。本市でも、軽症者の救急医療機関の受診や救急要請が増加。必要な時に必要な人が救急医療を使える暮らしを守るために、私たちができることを考えてみませんか。

問 医療保健課 ☎(082)420-0936

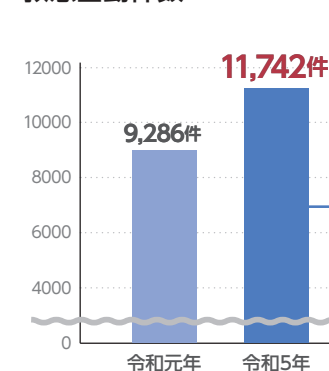
現状

休日診療所患者数と救急出動件数が増加

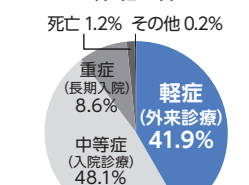
東広島市休日診療所患者数(医科)



東広島市消防局管内救急出動件数



傷病程度別搬送割合(令和5年)

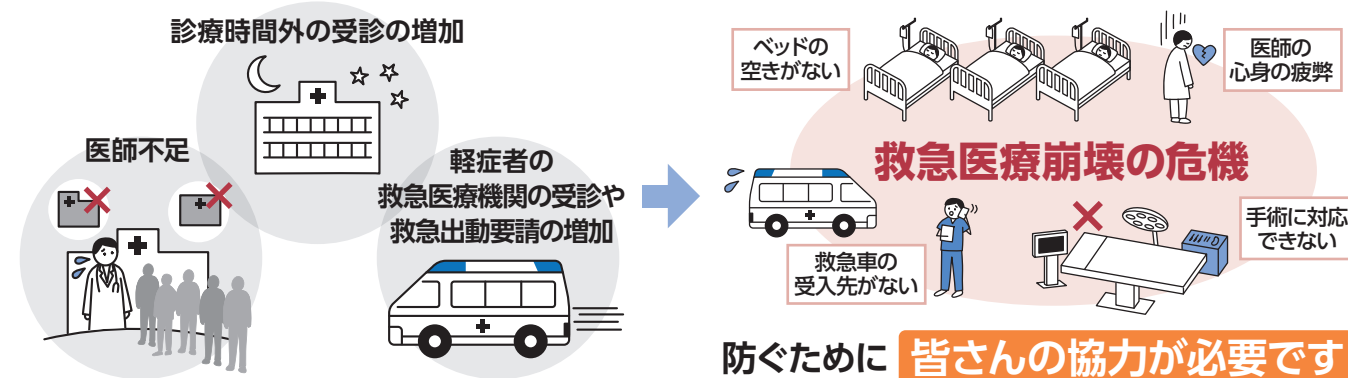


救急搬送の約4割が軽症



このままだと

地域の救急医療を維持できなくなる場合も



医師不足に対する市の取り組み
寄附講座設置による
医師の確保

大学の教育や研究に寄附をし、地域医療体制の構築に協力してもらっています。本市は広島大学に講

座を設置。産婦人科・小児科・麻酔科の医師が東広島医療センターに派遣されています。

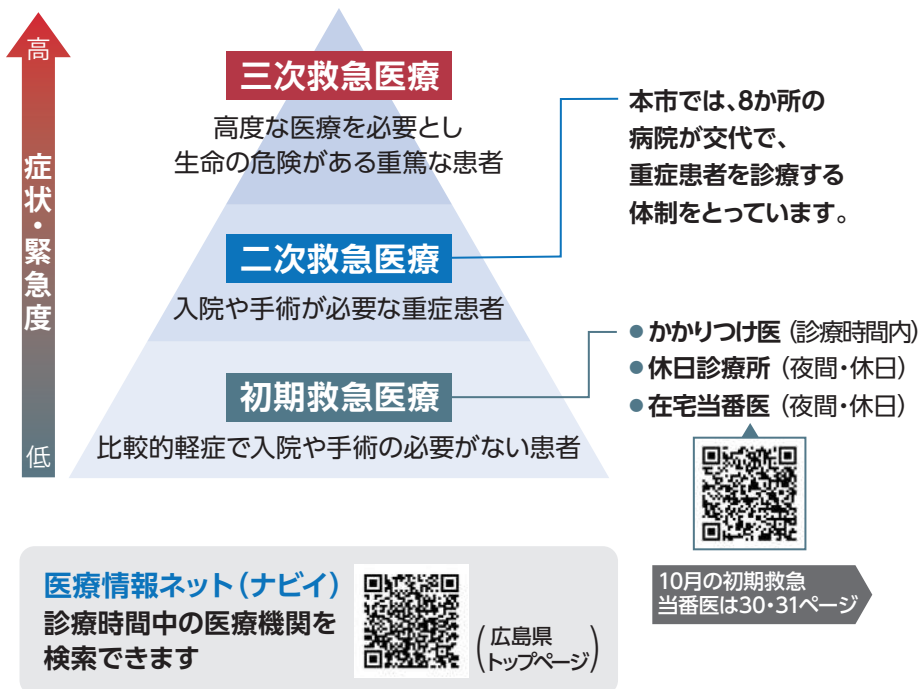


私たちにできること 1 診療時間内に受診をしよう

医療機関の役割を理解し正しく利用

本市の初期救急医療の対応は夜間・休日のみ、二次救急医療機関は8か所。三次救急医療機関はなく、東広島医療センターが小児救急患者も含めて高度な救急医療に対応しています。

救急医療機関への急を要しない受診が増えると、重症患者の治療の妨げになります。安心して必要な医療を受けられる体制を維持するために、診療体制が整っている通常の診療時間内での受診を心掛けましょう。



私たちにできること 2 かかりつけ医を持とう

健康に関する心配ごととは身近な医師に早めに相談

患者さんの日頃の健康状態や生活背景を知るかかりつけ医は意思疎通がしやすく、緊急時の診断にも役立ちます。早めにかかりつけ医を受診することで病気の予防や早期発見ができ、不要不急の時間外診療を減らせます。救急医療体制を守ることにもつながっています。



かかりつけ医を持つメリット

- 1 日頃の健康状態を知ってもらえる
- 2 症状に応じた専門医の紹介がスムーズ
- 3 病気の予防や早期発見・早期治療

生涯学習まちづくり出前講座 知っておきたい！救急医療のかかり方



おおむね10人以上のサークルや学校などの申請を受けて、市職員が皆さんのもとに出向き講座を行います。

(申請方法や詳細)



専門家に電話で相談

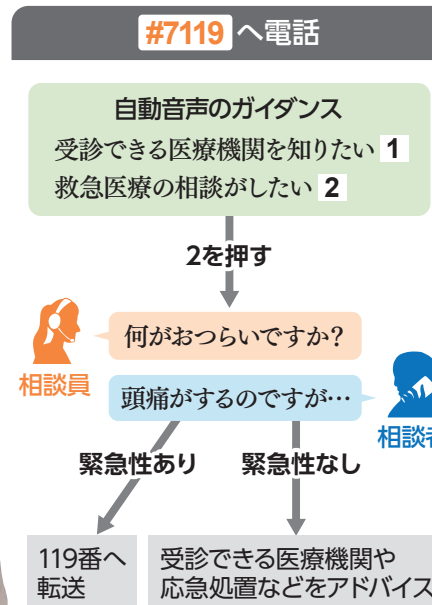
全年齢 ☎ **#7119** 救急相談センター

- 看護師などの相談員に電話で相談
- 365日24時間体制で対応
- つながらない場合は ☎ (082) 246-2000

急な病気やケガに動揺するのは当然です。お話を伺い、救急車の利用や受診の目安などをアドバイスします。

相談員(看護師) 久保 奈穂子さん

私たちにできること 3 電話やアプリで緊急度を判断



適正受診啓発マグネット
医療保健課(市役所本館2階)や各種健康イベントなどで配布しています。



子ども ☎ **#8000** 小児救急電話相談

● 19:00～翌8:00
※土日祝日
12月29日～1月3日は
17:00～翌8:00

● 看護師が受診できる医療機関や応急処置をアドバイス

症状の緊急度をアプリで判定

全年齢 📱 **全国版救急受診アプリ Q助**

急な病気やけがの緊急度を判定してくれるアプリ。症状を画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な対応が表示されます。



(総務省消防庁)

使ってみました

最初の画面で緊急度が高い症状を教えてくれるので安心。受診科目が分かるのも便利です。次の行動の後押しになりますね。



子ども 🌐 **ウェブサイト こどもの救急**

- 生後1か月～6歳の子どもの受診を判断



(右から)
やすだ ひろこ
安田 裕子さん
あおい かおる
葵さん、薫さん

緊急時には迷わず119番通報を



東広島市消防局 警防課 救急対策室 救急救命士 山口 大己さん

発熱のみなど症状が軽いときは、まずは**#7119**や**Q助**の利用をお願いします。高齢の方は痛みを感じにくい、お子さんは自分では訴えが難しい場合もありますので、いつもと違う場合や、様子がおかしい場合は迷わず119番に通報してください。

📻 ラジオで詳しく紹介します！ **FM東広島(89.7MHz)**

10月の毎週木曜日 17時台
スマートフォンでも聞けます >>>



2ページのクイズの答え

1 ① 2 〇 3 かかりつけ 4 8 5 〇